



■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82-4111内線215）までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

■和納保育園・五歳児



ぼたくの自信作

■写真上段左から：たかしまあゆむ君、ほりかわえりかさん、こやなぎりょうすけ君、こうのなおき君、はやかわまなみさん ■写真下段左から：おおつかともかさん、しぶきゆうすけ君、えんどうまなみさん

先月17日、和納小学校で…

収穫の秋を体験

和納小学校では先月17日、体育館西側にある学校教育田で、「稲刈り体験学習」を行いました。

この教育田、ことし5月に全校児童が参加して田植えを行い、先生方やPTAの皆さんが大切に管理してきたもので、黄金色の穂がたわわに実っていました。

当日は、PTAの役員の方が説明した後、児童たちはさっそく田んぼに入り、普段あまり持ち慣れない鎌を手一株ずつ慎重に刈り取りを行っていました。

この日収穫したこのお米（コガネモチ）は、同校の文化祭の「バザー」やおじいさん・おばあさんと行く「もちつき大会」などで使われるとのこと。今から待ち遠しいですね。



▲ことしも豊作！

■連日、大勢の人が同展を訪れ…



個性豊かな作品群を堪能
—岩室公会堂で、米沢隆一作陶展—
先月十四日から十六日までの三日間、岩室公会堂で大字岩室と岩室温泉旅館組合青年部の後援により、『米沢隆一陶房一周年記念個展』が開催されました。期間中、大字岩室の人たちはもちろん、村内外から多くの人が同展を訪れ、その個性豊かな作品群を堪能していました。

米沢隆一さんは日展評議員の故・山本正年氏に十年間師事。その後、昭和五十五年・巻町峰岡に築窯。そして、昨年新たに岩室に陶房を移築しました。

さわやかな初秋の風を浴びながら！

—村民サイクリング'96—

さわやかな初秋の風が吹いた先月8日、毎年恒例となった『村民サイクリング大会'96』が開催され、参加者たちは巻町の角田浜を目指してサイクリングを楽しみました。

当日は交通指導車を先導に、子供からお年寄りまでが、片道約30キロメートルの距離を、心地よい汗を流しながら、無事走り抜きました。

目的地の角田浜には、役員の方が作ってくれた豚汁が用意されており、参加者たちは、その豚汁と持ってきたお弁当をおいしそうに食べていました。



▲みんな笑顔で…

▶皆さんもご利用ください



駅前駐輪場が完成！
—二学期から、利用始まる—
村では、このほど旧国鉄用地でJR岩室駅の北側部分（三五七・五㎡）を購入。そこに、村民の念願であった駐輪場を整備しました。
この駐輪場、プレハブ造平屋建（建築面積二二・七四㎡）、収容台数二百台という立派なものです。高校生が夏休みに入った七月十五日から四十五日間の工期で工事が行われ、八月二十八日に完成し、九月二日から利用が開始されました。
皆さんも、駅前に自転車を置くとときは駐輪場内にきちんと自転車を止め、他人に迷惑をかけないようにしましょう。

アメリカの農業を体験

7月23日から8月9日までの18日間、西船越の小林千恵子さん(18)が、農業後継者を対象としたアメリカでの「実習留学」に行ってきました。

小林さんは、興農館高校の3年生の女の子と一緒に、ダンさん、リサさん夫妻の家庭でファーム・ステイを行ってきたそうで、日本とは比較できないほどの広い土地と大きな機械に圧倒されたそうです。

また、今回の留学を経験して、「家庭のあたたかさがよくわかった」そうです。



▲写真前列1番右が小林さん

デイサービスセンター建設事業の完成を祝い
岩室温泉掘削事業

岩室村デイサービスセンター建設事業と岩室温泉掘削事業の完成を祝う『合同竣工式』が先月25日、「ゆもとや」で盛大に挙行されました。

当日は、両工事関係者や地元関係者らが出席。まず鷺沢村長が「関係各位に対して、衷心より感謝申し上げます」と式辞を述べた後、柏木助役より工事経過が報告されました。

両施設は、お年寄りが住み慣れた家で安心して暮らせるよう、また、新しい「観光いわむろ」の目玉として、貴重な役割を果たしてくれそうです。



▶式辞を述べる鷺沢村長



▶和納サンダースの皆さん

野球クラブ・和納サンダースが
佐渡・両津市へ遠征

八月二十四・二十五日の両日、村内野球クラブの強豪・和納サンダース（代表・本田栄二さん）の十九名が、大岩清一村体育協会長のメッセージを携えて、佐渡の両津市に遠征し、両津市の選抜チームと親善試合を行いました。
同チームの遠征は、二十年以上も前から行っているもので、途中一時中断した時期もあったものの、四・五年前から再開し、佐渡へ遠征するのは約十年ぶりだそうです。
親善試合には六対九と惜敗したそうですが、本田さんは「私たちが一生懸命やることで、少しでも村内野球人口の減少の解消になれば」と話していました。